

目的 前報に引続き、形態を詳しく検討するために示数値の主成分分析を行い、さらに年齢と体型との関係を調べるために個人別主成分値から暦年齢を推定する重回帰式を算出した。又、客観的体型分類の一手法としてクラスター分析を試みたのをご報告する。

方法 前報と同じ資料を用いて示数値4項目の主成分分析を行い、さらに各主成分の個人別因子得点をデータとして重回帰分析、クラスター分析を試みる。

結果 1、第1主成分には肥瘦を表わす因子、第2主成分には長胴・短胴を表わす因子、第3主成分には年齢的变化に対応する因子、第4主成分には胸囲に対する他の周径の相対的な大きさを表わす因子の4因子を抽出した。以上4因子の累積寄与率は60.4%であった。

2、第3主成分の年齢的变化に対応する因子には大腿最大囲/胴囲、上腕最大囲/胴囲、大腿最大囲/腰囲、大腿最大囲/胸囲、頸囲/頸付根囲、頸付根前後径/頸付根幅が絶対値0.4以上の因子負荷量を示した。この主成分の因子得点は年代とともに漸次変化するが、特に、40年代を境に顕著に変化する。

3、第1、第3主成分の因子得点から暦年齢を推定する重回帰分析の結果は、重相関係数0.728、標準偏差7.099の精度が得られ、体型から年齢を推定し得る可能性が示唆された。